

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【公開番号】特開2010-22440(P2010-22440A)
 【公開日】平成22年2月4日 (2010.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報2010-005
 【出願番号】特願2008-184240(P2008-184240)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成24年2月29日 (2012.2.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技媒体の始動領域の通過により可変表示の実行条件が成立した後、可変表示の開始を許容する可変表示の開始条件の成立に基づいて複数種類の識別情報の可変表示を開始させた後に表示結果を導出表示する可変表示部を備え、該可変表示部に導出表示された識別情報の表示結果が予め定められた特定表示結果となったときに、可変入賞装置が開放状態となるラウンド遊技を所定回数実行する特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記特定遊技状態には、ラウンド総数が同じで 1 ラウンド当りの前記可変入賞装置の開放回数が異なる複数種類の発展型特定遊技状態を含む複数種類の特定遊技状態があり、

可変表示の実行条件が成立したが可変表示の開始条件が成立していないときに、前記特定遊技状態に制御するか否かおよび前記特定遊技状態に制御する場合の当該特定遊技状態の種類を特定するための情報を所定の上限数の範囲内で保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、

可変表示の開始条件が成立したときに、前記保留記憶手段に記憶された保留記憶情報に基づいて、前記複数種類の識別情報の可変表示を開始させた後に表示結果を導出表示する可変表示制御を実行する可変表示制御実行手段と、

前記発展型特定遊技状態へ制御する旨を示す情報が前記保留記憶手段に保留記憶情報として記憶されているときに、当該保留記憶情報に基づく可変表示の開始条件成立前に、前記識別情報の表示結果が前記特定表示結果となり前記発展型特定遊技状態に制御されることを所定の予告演出態様で予告する予告演出実行手段とを備えることを特徴とする、遊技機。